

公認山岳コーチ4
資格概要

2019年4月1日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会	
養成目的		全国レベルにおいて、登山者全体に厳冬期を含む積雪期、無雪期を問わず安全な登山が指導出来る指導者を育成する。海外登山(概ね6,000m以上)においても安全指導が出来る指導者を養成する。	
役割		海外を含め全国レベルでの登山全体の普及に努め、日本山岳協会の講習会・研修会、文登研の研修会で主任講師が出来ること。概ね6,000m以上の登山でもリーダーが出来ること。	
養成講習会に係る内容	受講条件		
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅳ(151h以上)
		専門科目	山岳コーチ4専門科目(80h)※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目Ⅳ:28000円(税抜)／上級教師:56000円(税抜)
		専門科目	競技団体によって別途定める
		スタートコーチ	円()
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
		専門科目	<p>■講習会 カリキュラム(80時間)に基づき、JMCSAが直接集合講習会と通信講習(レポート)により開催する。実際の実施計画については、JMCSAとJSPOとの相談の上実施する。</p> <p>■検定試験 JMCSA指導委員会が作成・出題し、筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定とする。</p> <p>■審査 合格者の判定は筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定結果を基に、JMCSA指導委員会で審査の上、原則として満点の6割以上を合格とする。</p> <p>■免除要件</p>
	登録に係る内容	登録料(4年間)	
		基本登録料:10,000円	
資格別登録料: 円			
更新登録要件		初期登録手数料(初回登録時のみ):3,000円	
更新登録要件		資格登録有効期限の6か月までに、最低1回は、JMCSAが定める研修会またはJSPO(都道府県体育協会が実施する(認める)研修を含む)が実施する研修を受けなければならない。	
特記事項			

公認山岳コーチ4

2019年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 基礎理論 (今後の展望を踏まえて)	①	海外遠征登山(手続き、高山病、遭難の例など)	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	②	積雪期の登山(本州中部や、各山岳地域の特徴など)	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	③	登攀技術(今後の日本及び世界の登攀の展望など)	0.00 h	2.00 h	2.00 h
	④	遭難対策(遭難事故を防ぐには)	0.00 h	3.00 h	3.00 h
	⑤	指導法(今後の指導者像、指導理論など)	0.00 h	3.00 h	3.00 h
	小 計		5.00 h	8.00 h	13.00 h
② 実技・指導実習 (新技術を中心に実践 意見交換)	①	登攀技術(自然・人工の時々における話題で実践・実習・協議)	3.00h	2.00h	5.00 h
	②	氷雪技術(時々における話題で実践・実習・協議)	2.00h	3.00h	5.00 h
	③	山岳スキー技術(総合技術)	3.00h	0.00h	3.00 h
	④	登攀時の遭難対策(チームレスキューを中心に協議)	3.00h	3.00h	6.00 h
	⑤	積雪期の遭難対策(チームレスキューを中心に協議)	4.00h	4.00h	8.00 h
	小 計		15.00 h	12.00 h	27.00 h
			20.00 h	20.00 h	40.00 h